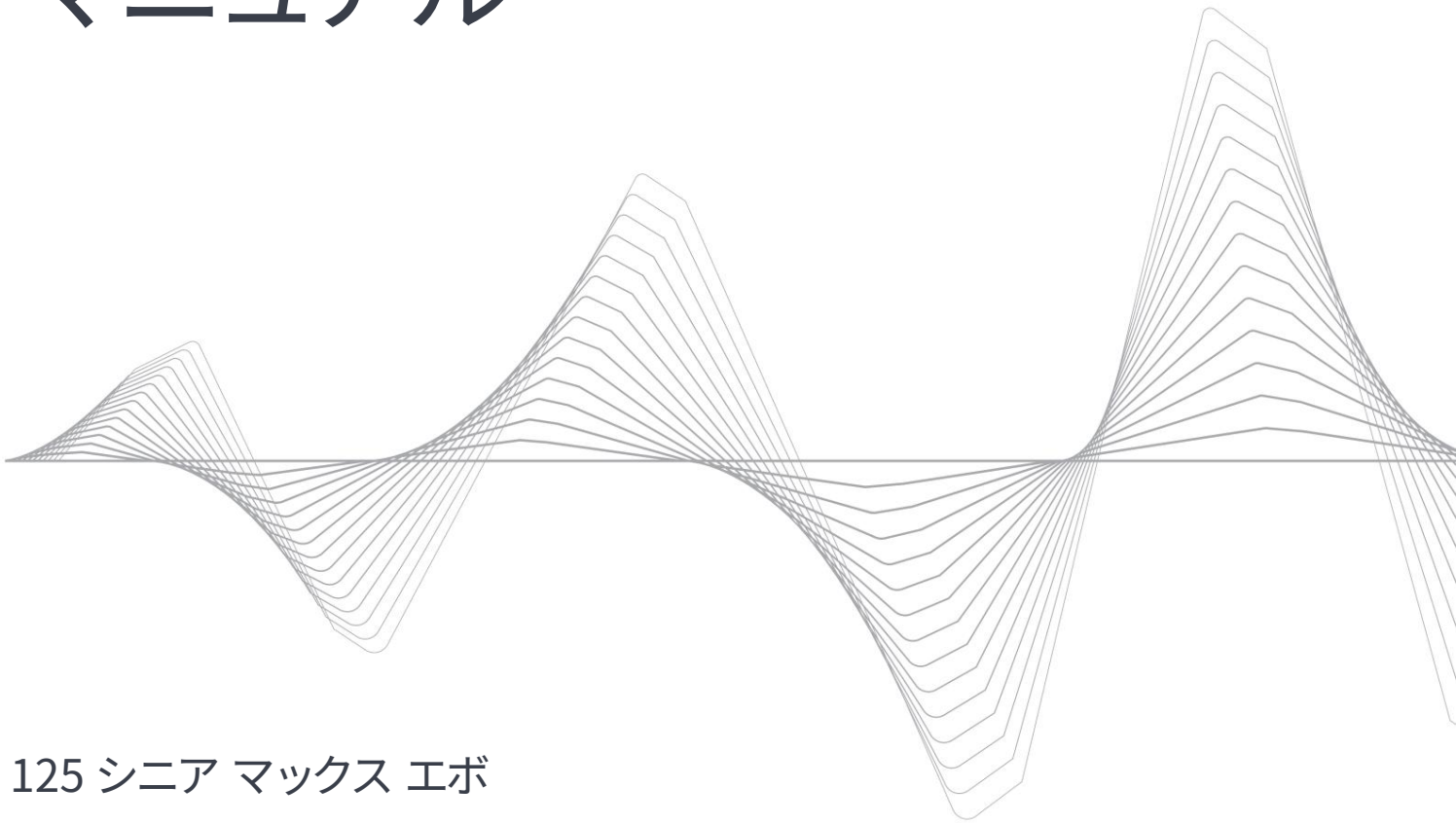




インストール マニュアル



125 シニア マックス エボ
125 ジュニアマックスエボ
125 ミニマックス エボ
125 マイクロマックス エボ

一般情報

BRP-ROTAXが推奨する製品

以下の企業:



BRP-ロータックス
インストール手順

目次

章	イントロ-
章	1 - エンジンの取り付け
章	2 - 燃料システム
章	3 - 電気システム
章	4 - 冷却システム
章	5 - 排気システム
章	6 - アクセサリの取り付け
章	7 - 仕上げ作業

BRP-ロータックス インストール手順

注記

注記

2ページ目
発行日: 2021年3月1日

有効範囲: 125 MAX evo、Junior MAX evo、Mini MAX
evo、Micro MAX evo エディション 2019年10月1日/
Rev. 0

BRP-ロータックス
インストール手順

章: はじめに

序文

エンジン 125 MAX の修理に関する情報については、認定サービス センターに問い合わせるか、修理マニュアル (インターネットのwww.rotax-kart.com で入手可能) を参照してください。

当社の YouTube チャンネルもご覧ください:



図1.1: QRコード

所有権が変更される場合には、このマニュアル、エンジン識別カード、製品およびサービス登録文書を新しい所有者に必ず引き渡してください。

コンテンツ

この設置マニュアルには、ROTAX®のすべての設置作業の手順が記載されています。

エンジンタイプ 125 MAX evo、125 ジュニア MAX evo、125 ミニ MAX evo、125 マイクロ MAX 進化。

一般的な

この文書およびそこに含まれるすべての技術データと手順は、BRP-Rotax GmbH & Co KGの所有物であり、発行時点の知識に基づいています。このマニュアルは、当社の知る限りの知識に基づいて作成されています。ただし、いかなる責任も負いません。

技術的な変更および誤りの可能性を含むすべての権利は留保されます。本書の全部または一部を転載、翻訳、または複製する場合は、BRP-Rotax GmbH & Co KG の書面による許可を得た場合にのみ許可されます。

BRP-Rotax GmbH & Co KG は、義務を負うことなくいつでも仕様、価格、デザイン、機能、モデル、または装備を中止または変更する権利を留保します。
エンジンの性能は、一般的な条件、周囲温度、高度などによって異なる場合があります。

注記

登録書類とエンジン ID カードは、認定サービス センターによる納品時に、引き渡し日と会社の印鑑とともに最終消費者に提供される必要があります。

注記

保証請求の確認には、登録書類および／またはエンジンIDカードに記入されたデータが必要です。
エンジンIDカードが完全に記入されていない場合、保証請求は受け付けられません。

BRP-ロータックス インストール手順

注記

ROTAX® MAX CHALLENGE (RMC)に参加する場合、エンジンは技術規則への適合性が確認され、封印されている必要があります。封印のシリアル番号をエンジンIDカードに記入する必要があります。

安全メッセージ

安全メッセージの種類、その表示方法、およびこのガイドでの使用方法については、次のように説明されています。安全警告シンボルは、怪我の危険性があることを示します。

警告

回避しないと重大な傷害または死亡につながる可能性がある潜在的な危険を示します。

注意

回避しないと軽度または中程度の傷害を引き起こす可能性がある危険な状況を示します。

注意

従わなかった場合、車両のコンポーネントまたはその他の財産に重大な損害を与える可能性がある指示を示します。

環境に関する注意事項

環境ノートでは、環境保護に関するヒントを紹介します。

注記

指示を完全に完了または理解するために必要となる可能性のある補足情報を示します。

チェック操作を示す

ヒント

この情報は追加のアドバイスとヒントを提供します

イントロ

2ページ目
発行日: 2021年3月1日

効果: 125 MAX evo、ジュニア MAX evo、ミニ MAX evo、マイクロ MAX evo

BRP-ロータックス
インストール手順

安全情報

警告

従わない場合は重傷または死亡事故につながる可能性があります。
エンジンを最適に動作させるには、エンジンと機器の取り付けに関する以下のアドバイスに従う必要があります。

警告

従わない場合は重傷または死亡事故につながる可能性があります。
エンジンの運転はROTAX®が提供する機器のみで許可されています

警告

従わない場合は重傷または死亡事故につながる可能性があります。
エンジン固有の取り付けアドバイスに加えて、それぞれのシャーシメーカーからの情報にも注意してください。

導入

ROTAXエンジン Type 125 MAXをお選びいただき誠にありがとうございます。
ROTAX®エンジン タイプ125 MAXは、指定されたコースでのみ走行が認められているゴーカート専用に開発されました。この製品には、数々の技術革新が盛り込まれています。

警告

従わない場合は重傷または死亡事故につながる可能性があります。
エンジンの取り付けと操作を開始する前に、取り付け手順と操作マニュアルをよく読んで、すべての指示に従ってください。

BRP-ロータックス
インストール手順

ROTAX POWERPACKの開梱

ROTAXエンジンをお選びいただきありがとうございます。ROTAXカートエンジンは2つの箱でお届けします。



図1.2: 開梱

エンジンボックス

エンジン ボックスには、ギアボックス オイルがあらかじめ充填された組み立てられたブロック エンジンが含まれています。

アクセサリボックス

アクセサリボックスには、エンジンの作動に必要な部品がすべて含まれています。下の表を使用して、アクセサリキットの完全性を確認してください。

イントロ

4ページ
発行日: 2021年3月1日

効果: 125 MAX evo、ジュニア MAX evo、ミニ MAX evo、マイクロ MAX evo

BRP-ロータックス
インストール手順



図1.3: アクセサリボックス

ポジション	説明	チェックマーク
1	冷却水ホース付きラジエーター	お
2	点火コイル、ソレノイドバルブ、スパークプラグキャップ付き取り付けプレート	お
3	バッテリーボックスと配線ハーネス	お
4	バッテリー充電器	お
5	吸気サイレンサー	お
6	燃料ホース付き燃料ポンプ	お
7	排気システム	お
8	マニュアルとエンジンIDカード	お
9	いくつかの小さな部品（スパークプラグ、ネジなど）	お
10	RAVEコントロールユニット用ホースパッケージ	お
11	ECU	お
12	キャブレター	お

BRP-ロータックス
インストール手順

エンジン情報

エンジンシリアル番号

エンジンのシリアル番号はクラッチ側ハウジングの半分に刻印されています。

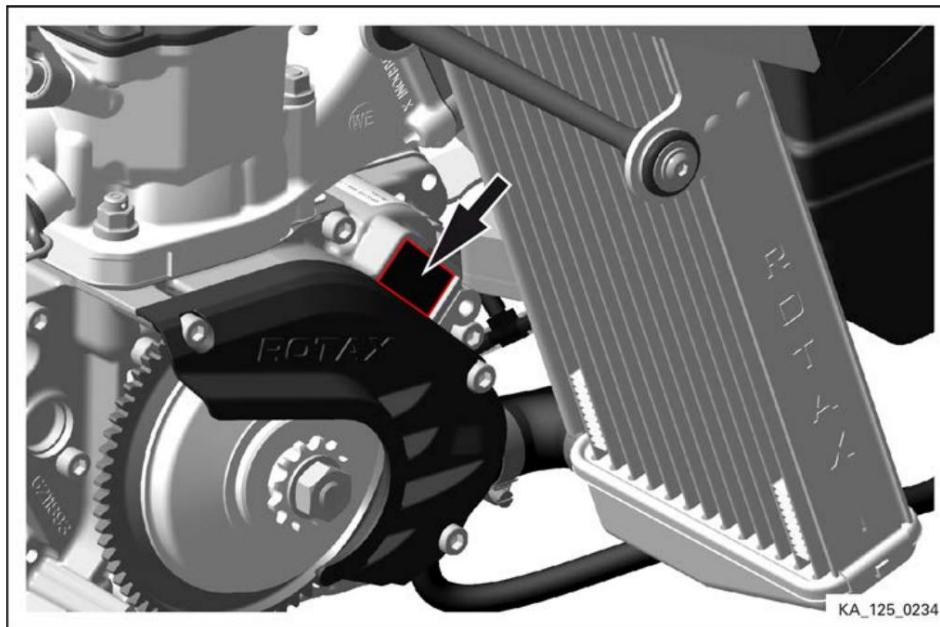


図1.4: エンジンのシリアル番号（標準）

ギアオイルと燃料の仕様

最新のオペレーターマニュアルを参照してください。

装備と改造

エンジンや機器の改造は許可されません。

イントロ

6ページ
発行日: 2021年3月1日

効果: 125 MAX evo、ジュニア MAX evo、ミニ MAX evo、マイクロ MAX evo

BRP-ロータックス
インストール手順

章: 1
エンジンの取り付け

この章のトピック

エンジンのシャーシへの取り付け	2
エンジン台座による取り付け	3

BRP-ロータックス
インストール手順

エンジンの取り付け
シャーシ

必要なツール:
• 六角レンチ 8mm
• ラチェットレンチ

注記

これらの手順は、
シャーシの種類。これらは一般的な情報です。
のみ

注記

シャーシと
エンジンブラケットをエンジンが
レース条件下での移動

ステップ	手順
1	エンジンの上部を取り付ける ブラケット (2) をエンジン (1) に取り付け。
2	研磨テープ (3) を エンジンをシャーシに適用する領域。
3	エンジンをフレームに取り付けて 下部エンジンブラケットを事前に取り付けます (4) をエンジン (1) に接続します。 エンジンがフレーム上で動くように、締め直して ください。
4	エンジンをできるだけ後ろに下げてください。
5	チェーンを後車軸に巻き付けて まずチェーンをフロントスプロケットに取り付けます。
6	リアスプロケットにもチェーンを取り付けます。
7	エンジンを前に出して締める 鎖。
8	チェーンの張りを正しく調整したら、ストッパー を使用してエンジンを正しい位置に保ちます。

ステップ	手順
9	エンジンのネジを締める 括弧。
10	リアスプロケットと フロントスプロケットが互いに並ぶ、 定規を使って確認してください。

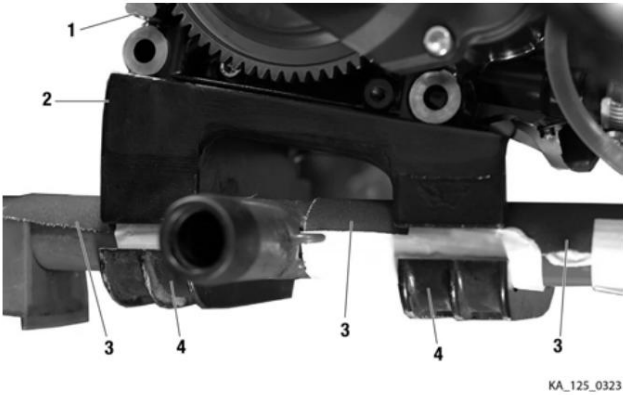


図2.1: エンジンの取り付け例

- 1 エンジン
- 2 上部エンジンブラケット
- 3 研磨テープ 4 エンジン下部ブラケット

BRP-ロータックス
インストール手順

エンジン経由の取り付け ペデスタル

ROTAX®エンジン125 MAX evo/Junior MAX evo/Mini MAX evo/用のエンジン台座を使用する場合

マイクロマックスエボでは、エンジンは0°から15°に傾斜しています。
運転方向。

ステップ	手順
1	4つの穴を開けます（直径8.5 mm / 0.315インチ = ドリルサイズ）の座標80 mm x 102 mm / 3.15インチ x 4.016インチ（上部）台座に適したプレートシャーシ。

注意

従わないと重傷を負う可能性があります。
台座に穴を開ける際は、シャーシメーカーのアドバイスに注意してください。

ステップ	手順
2	台座をエンジンのクランクケースに4本のM8ネジ（最小強度）で接続します。 グレード8.8）。ネジを24 Nm / 212 インチポンド

注意

チェーンのアライメントに注意してください
シャーシメーカー。

注記

チェーンが入るまでエンジンをシャーシに固定しないでください
適切な位置に調整し、張力をかけます。

BRP-ロータックス
インストール手順

注記

注記

4ページ
発行日: 2021年3月1日

有効範囲: 125 MAX evo、Junior MAX evo、Mini MAX
evo、Micro MAX evo エディション 2019年10月1日/
Rev. 0

BRP-ロータックス
インストール手順

章: 2
燃料システム

この章のトピック

燃料ポンプの取り付けと接続.....2 キャブレター制御用ボウデンケーブルの取り付け.....5
キャブレターの取り付けと接続.....7

BRP-ロータックス
インストール手順

インストールと接続
燃料ポンプの

ステップ	手順
1	保持プレート、ゴム製緩衝材、燃料ポンプ、燃料ホース（230 mmと（長さ1800mm）は組み立て済みです。

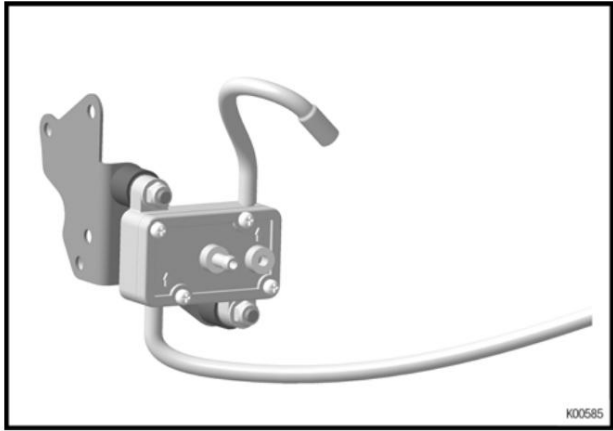


図3.1

ステップ	手順
2	サポートブラケット（位置1）を取り付けます。燃料ポンプをキャブレターソケットにM6x30ネジ3本（位置番号2）で固定します。締め付けトルクは6 Nm / 53 lbf inです。

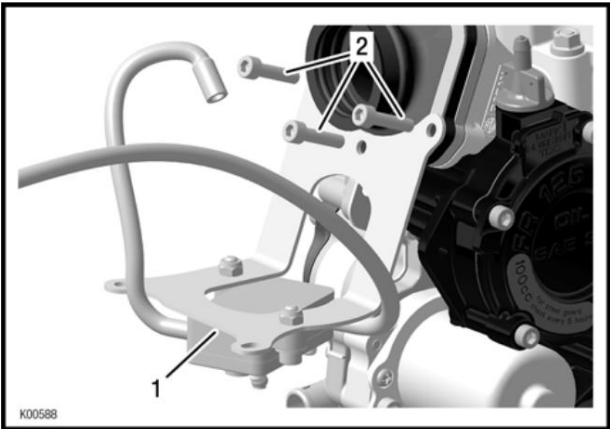


図3.2

1 サポートブラケット ネジ2本 M6x30

ヒント燃料ホースの組み立てを容易にするには
ホースの端を少し広げる
サークリッププライヤーの。

注意

燃料ホースが損傷する可能性があります。
燃料ホースを過度に広げないでください。



図3.3

ステップ	手順
3	長さ230mmの燃料ホースは後でキャブレターに接続され、セクション3のキャブレターの取り付けを参照してください。
4	大きい燃料ホース（位置1）は燃料フィルター（位置2）に接続しますそして燃料タンクへ。

BRP-ロータックス
インストール手順

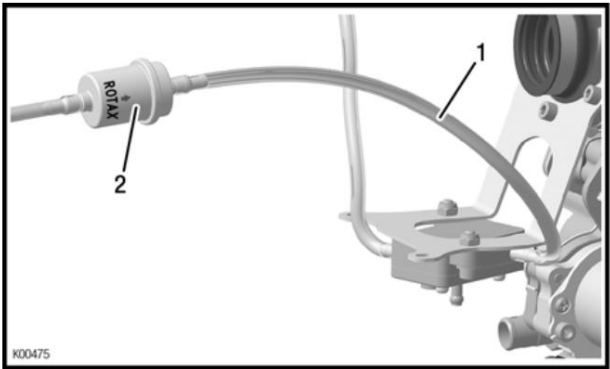


図3.4

大型燃料ホース1本 2 燃料フィルター

125 MAX evoを除くすべてのエンジンに関係します

排気スライドのないエンジンの場合、ギアボックスと排気管を直接接続する（真空ホースを使用）。
燃料ポンプを取り付ける必要があります。

注記

排気スライド付きエンジンについては、第8章を参照してください。

ステップ	手順
5	400 mm (15.75インチ)の長さの燃料ホース。
6	真空ライン（位置2）をギアボックスハウジングをタイラップで固定し、外れを防ぎます（位置1）。

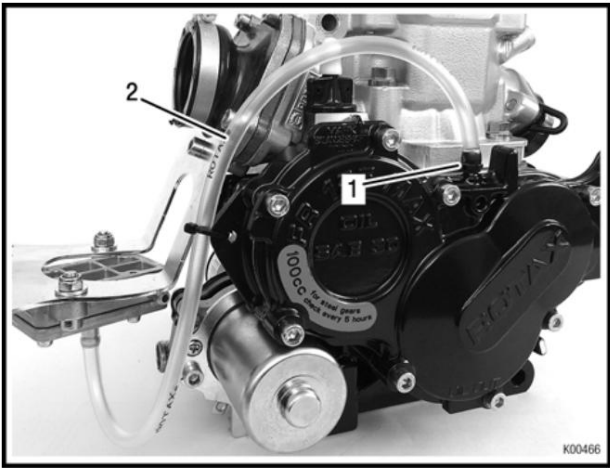


図3.5

すべてのエンジンに関係

ステップ	手順
7	燃料間の接続を取り付ける タンクと燃料フィルターの長さ このラインはシャーンによって異なる場合があります シャーン。

注意

矢印の方向に注意してください
燃料フィルター。
これは燃料ポンプの方向に向いている必要があります。

警告

遵守しないと重傷を負う可能性があります
あるいは死！
燃料タンクから燃料フィルターまでの燃料ラインは、エンジンの
可動部品に触れないように配線してください。
トラックと燃料ラインを上側に接続します
シャーンチューブの。

BRP-ロータックス
インストール手順

注意

インパルスホースと燃料ライン内の流れは、ケーブルタイの使用によって制限されてはなりません。

注意

追加の燃料フィルターを使用すると、燃料タンクと燃料ポンプ間の燃料ラインにさらなる流動抵抗が生じてはなりません。

BRP-ロータックス
インストール手順

ボウデンの設置
キャブレター用ケーブル
コントロール

必要なツール:	
• オープンエンドレンチ 10 mm	

ステップ	手順
1	キャブレターカバーを慎重に取り外します ゴムリング（位置7,8）。

注意

キャブレターピストンのリセットスプリングが押し付けられる
キャブレターカバーとキャブレターが飛び出す可能性がある
取り外し時のカバー。

ステップ	手順
2	ニップルネジ（位置5）を取り外します オープンエンドレンチをキャブレターピストンから10 mm離します（位置2）。
3	ボウデンワイヤーのニップルをかみ合わせる（位置9） ニップルネジ（位置5）内。
4	キャブレターピストンにニップルネジを取り付けます オープンエンドで手で締めます レンチ10mm。
5	キャブレターピストン（位置2）を挿入します 吸気サイレンサーに向かってピストンが窪ん だキャブレター本体。
6	ボウデンワイヤーを圧縮スプリング（位置6）とカ バーに通します。 ゴムリング付き（位置7,8） キャブレター。
7	キャブレターにキャブレターカバー（位置7）を取り付けます。
8	ボウデンワイヤーをボウデンに通す 導管と貫通調整ネジ シャーシ（スロットルペダル）上。
9	ボウデンケーブルをスロットルに接続します ペダル。

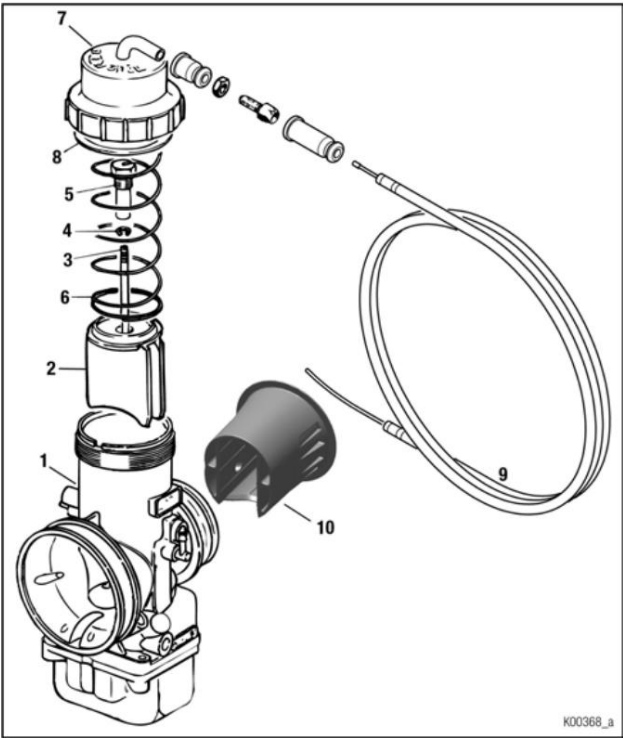


図3.6

- キャブレター1個
- 2 キャブレターピストン
- 3 ジェットニードル K57
- 4 クリップ
- 5 ニップルスクリュー
- 6 圧縮ばね
- 7 キャブレターカバー
- 8 ゴムリング
- 9 ボウデンケーブル
- 10 リストリクター（ミニ、マイクロ
マックスエボ）

注記

必要に応じて、ボウデン ケーブルを短くします。

ステップ	手順
10	キャブレターのボウデンケーブルを シャーシチューブの上部にケーブルを通し、付属 のケーブルタイで固定します。 ボウデンケーブルが 可動部分やトラックに触れないでください。

BRP-ロータックス
インストール手順

警告

従わない場合は重傷または死亡事故につながる可能性があります。

キャブレターのボウデン ケーブルは、キャブレター ピストンがフル スロットルの位置で動かなくなる可能性があるため、よじれたり制限されたりしてはなりません。

ステップ	手順
11	スロットルペダルが作動していないときにキャブレターピストンが閉じた位置のままになるように、シヤーシ上のボウデンケーブルの調整ネジを設定して固定します。
12	スロットルペダルのストップネジを設定して固定し、ペダルを完全に踏み込んだときにキャブレターのピストンが完全に開いた位置になるようにします。 スロットルが完全に開いた位置にあるとき、ボウデン ケーブルは最大張力状態になってはいけません。

BRP-ロータックス
インストール手順

インストールと接続
キャブレターの

必要なツール:
<ul style="list-style-type: none">• ソケット付きラチェットレンチ 7 mm• プラスドライバー

ステップ	手順
1	キャブレター (位置 1) をキャブレター ソケットに取り付け、ホース クランプ (位置 2) で垂直位置に固定します。
2	燃料ポンプの出口ホースをキャブレターの燃料入口 (位置3)に接続します。

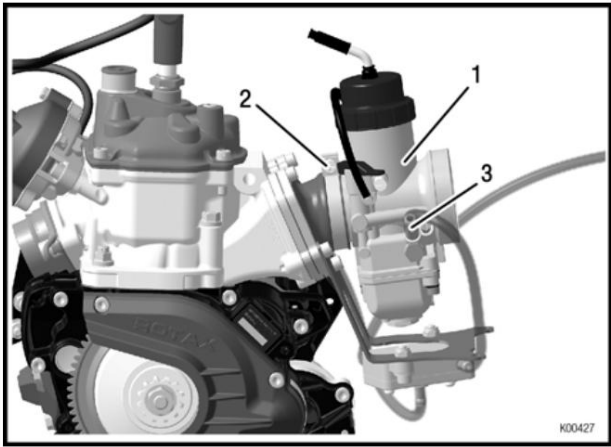


図3.7

- キャブレター1個
- 2 ホースクランプ
- 3 燃料入口

BRP-ロータックス インストール手順

注記

注記

8ページ
発行日: 2021年3月1日

有効範囲: 125 MAX evo、Junior MAX evo、Mini MAX
evo、Micro MAX evo エディション 2019年10月1日/
Rev. 0

BRP-ロータックス
インストール手順

章: 3
電気システム

この章のトピック

配線ハーネスの取り付け2 配線ハ
ーネス - 概要4 バッテリークラ
ンプアセンブリへの ECU の取り付け5 バッテリークラ
ンプアセンブリの取り付け7

BRP-ロータックス
インストール手順

配線の設置

ハーネス

取り付けを容易にするため、ワイヤーハーネスは一部が事前に組み立てられた状態で納品されます。つまり、リレー、マルチファンクションスイッチ、バッテリーカバーは既に組み立てられ、配線されています。

注記

コネクタの割り当ては次のページに示されています。ケーブルとピンの割り当ての詳細は配線図に記載されています。

注記

ケーブルラグは繰り返し曲げると破損する場合があります。

ステップ	手順
1	配線ハーネスをシャーシ上に緩く置きます。

注記

配線ハーネスに張力をかけずに作業するために、必ずエンジン側から取り付けを開始してください。

注意
プラグ接続部の張力緩和を確実にする必要があります。

注記

ケーブルをループ状に配線することで、配線ハーネスの過剰な長さを補正します。

警告
従わない場合は重傷または死亡事故につながる可能性があります。
配線ハーネスはトラックの可動部分に触れてはなりません。

注記

イグニッション ピックアップとイグニッション コイルの接続を外すときは、まず一体型のキャッチを押します。

注記

電気プラグの接続を外すときは、必ずプラグを引っ張って外してください。

ステップ	手順
2	取り付けプレート (位置 2) にある 2 つの穴に、大きなケーブル タイ (位置 1) を事前に取り付けます。

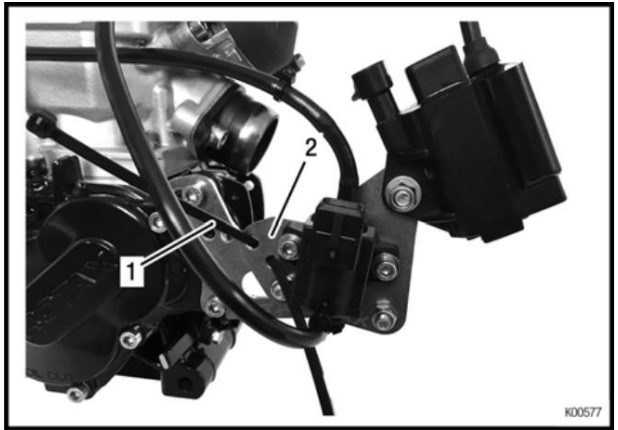


図4.1

ステップ	手順
3	ソレノイドバルブ (位置1)とイグニッションコイル (位置2)を接続します。両方のコネクタ (緑色のラベル付き) (位置3)を2つのコンポーネントに接続します。

BRP-ロータックス
インストール手順

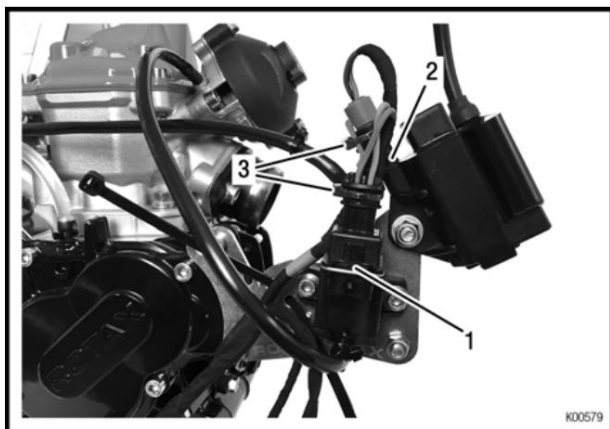


図4.2

ステップ	手順
4	ピックアップコネクタをピックアップに接続します センサー（位置1）。 コネクタの接続。

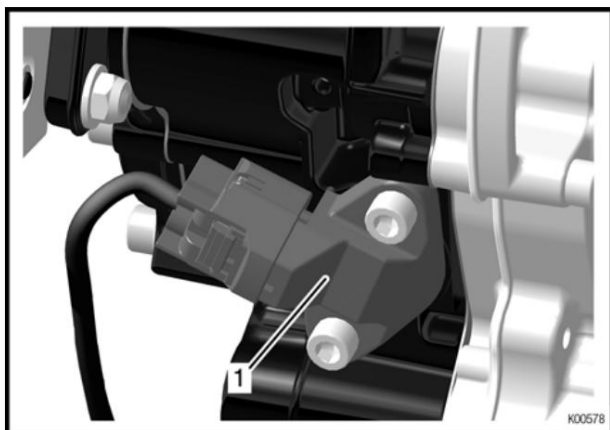


図4.3

ステップ	手順
5	シフトコンタクトケーブルと、おそらく長すぎる ケーブル（位置1）を修理します。 ピックアップセンサー（位置3）を、あらかじめ取り付け られたタイラップ（位置2）で固定します。 取り付けプレート。

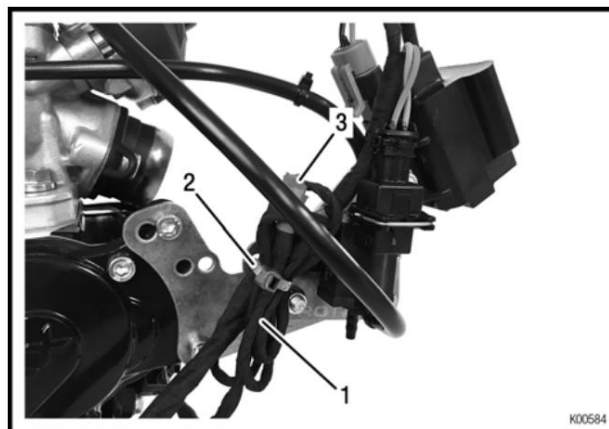


図4.4

注記

シフトコンタクトケーブルは、ギアなしエンジンでは使用されないため、分離する必要があります。

排気スライドのないエンジンのみ:

次の図は配線の敷設を示しています
排気スライドのないエンジンのハーネス。また、
オプションとしてダミープラグ（部品番号666900）を参照してください。
納品範囲には含まれません。
ソレノイドの代わりにタイラップを使用して固定する
バルブ。

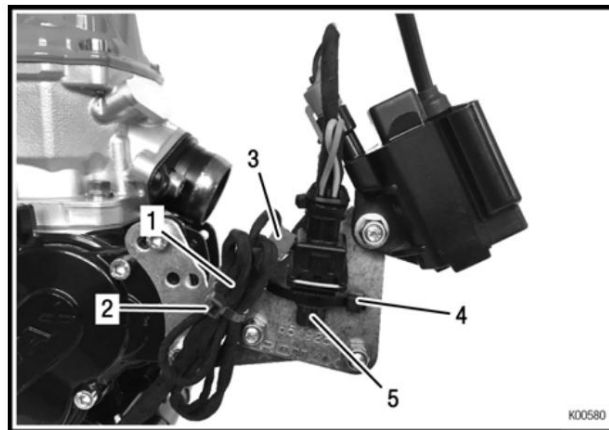


図4.5

ステップ	手順
6	点火ケーブルを配線ハーネスに取り付け ます。

BRP-ロータックス
インストール手順

配線ハーネス - 概要

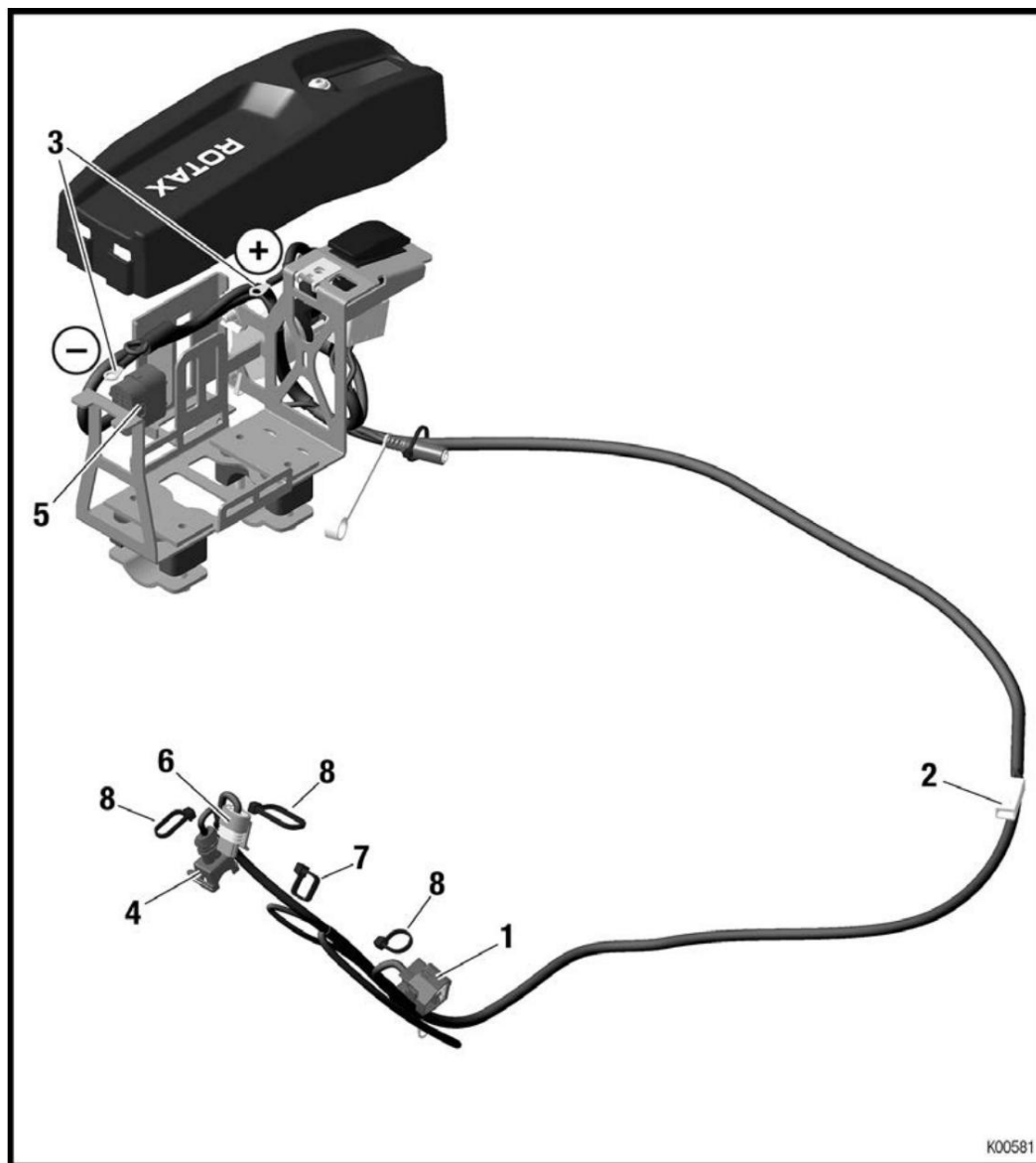


図4.6: 典型的な

1 コネクタピックアップセンサー

3 コネクタバッテリー

5 コネクタECU

7 タイラップ 250x4.8

2 コネクタスターター

4 コネクタRAVE (125 MAX evoのみ適用)

6 コネクタ点火コイル

8 タイラップ 142x3.2

BRP-ロータックス
インストール手順

ECU をバッテリー クランプ ASSY に取り
付けます。

ステップ	手順
1	取り付けのために、ゴムパッド（2 つの半分で構成）（位置 1）と ECU（位置 2）を準備します。

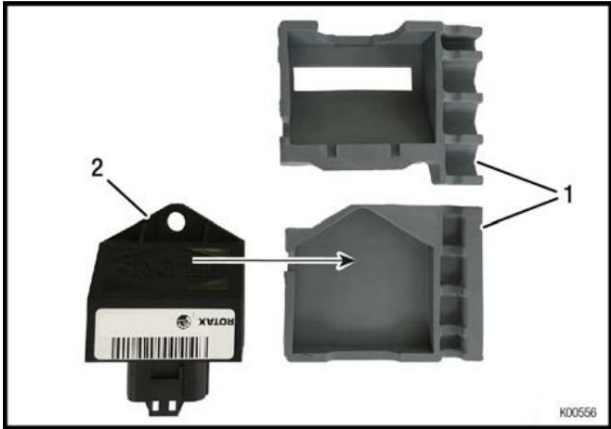


図4.7

ゴムパッド1個

2 ECU

ステップ	手順
2	ゴムパッド（位置1）をECUに取り付けます。

ヒントECU の三角形の下部に合わせます。
ゴムパッドに1つの位置にのみフィットします。

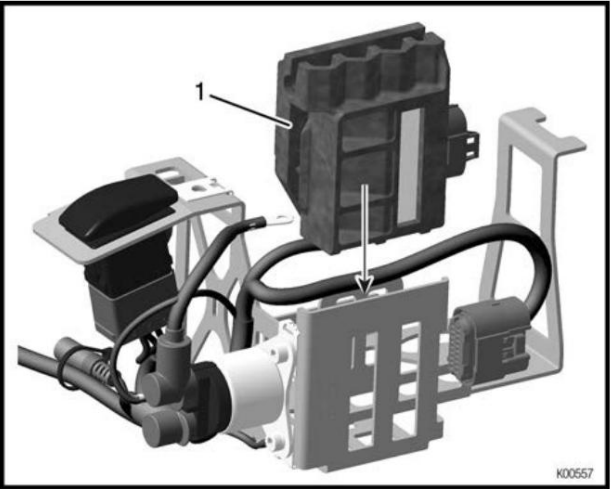


図4.8

ゴムパッド1個

ステップ	手順
3	完成したユニットをバッテリー クランプ アセンブリに挿入します。

注記

挿入が困難な場合は、バッテリー クランプ アセンブリの内側を内側に簡単に曲げて、距離をわずかに広げることができます。

注意

2 つのパッドの間に接続ケーブルが取り付けられていることを確認します。
ECUの接続は後方（走行方向と反対）にあります。

BRP-ロータックス
インストール手順

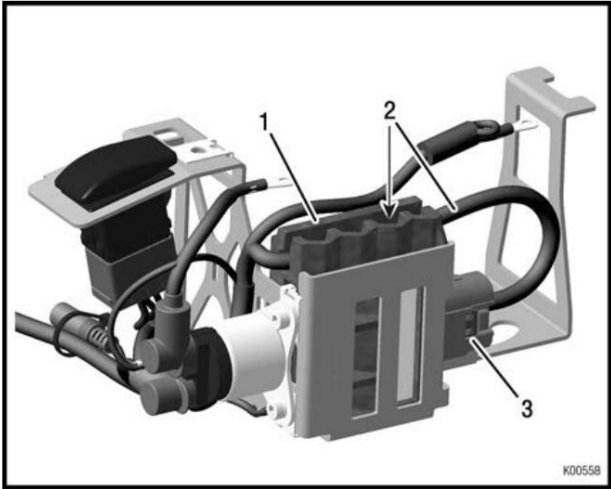


図4.9

- ゴムパッド1個
- 2 接続ケーブル
- 3 ECUコネクタ

BRP-ロータックス インストール手順

バッテリーの取り付け

クランプアセンブリ。

必要なツール:

- 六角レンチ 4mm
- 8mmのソケット付きラチェットレンチまたはプラスドライバー

警告

遵守しないと重傷を負う可能性があります
あるいは死！

ショートを絶対に避けてください
バッテリー端子。ショートするとバッテリーが損傷し、
爆発する可能性があります。

ステップ	手順
1	バッテリー固定具（位置5）を 2つのパイプクランプ（位置1～4） 運転席横の左側ボックス。

注記

クランプ（位置2,3）はシャーシ用に設計されています
直径30～32 mm（1.18～1.26インチ）のチューブ。

注意

クランプ破損の危険！
パイプクランプのネジを締めすぎないでください。

ステップ	手順
2	ゴムパッド（位置6）をバッテリーと一緒に取り付けます （位置7）を電池ホルダー（位置8）に差し込みます。 5）。
3	電池（位置7）を器具に挿入します カバー（位置8）を取り付けます。 丸型フランジヘッド付き六角ネジ （位置9）。配線ハーネスを Pクランプ（12）を六角ネジ（13）で締める。

ヒントバッテリー固定具（位置5）は固定できます
クランプの片側に1本のネジが付いている
（位置3）。

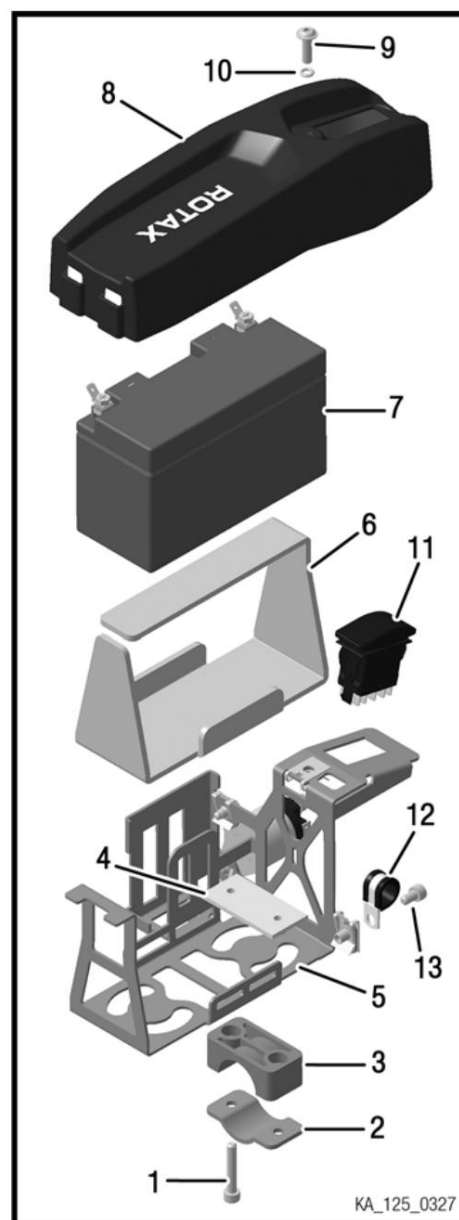


図4.10

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1～4個のパイプクランプ | 5 バッテリー固定具 |
| 6 ゴムパッド | 7 バッテリー |
| 8 電池カバー | 9 フランジヘッドネジ |
| 10 Oリング | 11 多機能スイッチ |
| 12 ケーブルクランプ 15/M6 | 13 六角ネジ M6x10 |

BRP-ロータックス
インストール手順

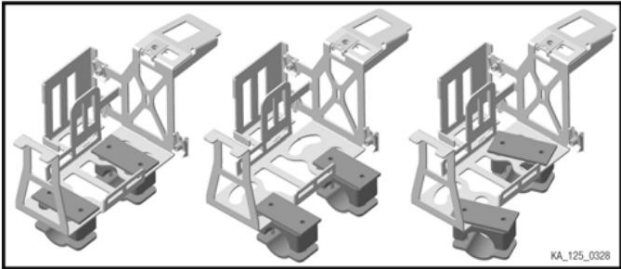


図4.11

注記

バッテリー端子は、
制御ユニットの。

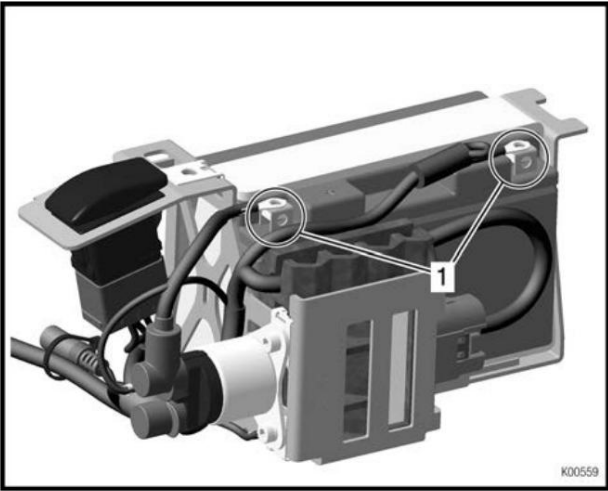


図4.12

1 バッテリー端子

ステップ	手順
4	プラス端子（赤）を バッテリー。
5	マイナス端子（黒）を接続します バッテリーの。

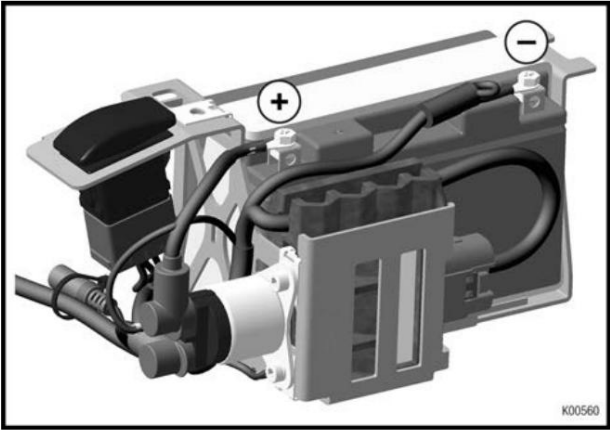


図4.13

ステップ	手順
6	バッテリーカバーをバッテリーホルダーに取り 付けます。

注記

2つの固定ラグ（位置1）が
電池カバーの切り欠きにあります！

ステップ	手順
7	フランジヘッドネジ（位置2）を締めます 電池カバー。



図4.14

1 保持ラグ

2 フランジヘッドネジ

BRP-ロータックス
インストール手順

章: 4
冷却システム

この章のトピック

冷却システム - 概要2 ラジエーターの取り付け3

吸気サイレンサー5

エアフィルター—体型吸気サイレンサーの取り付け6

BRP-ロータックス
インストール手順

冷却システム - 概要

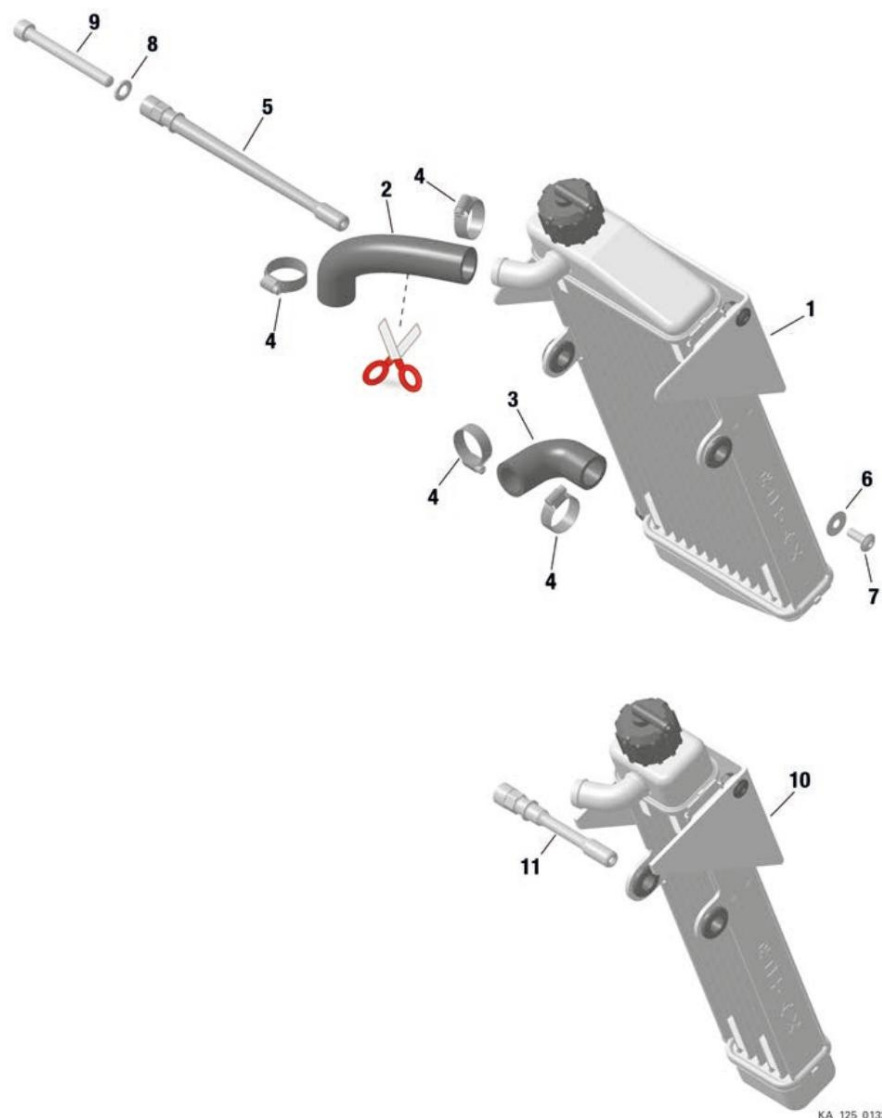


図5.1

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 大型ラジエーター1台 | 2 上部冷却水ホース |
| 3 下部冷却水ホース | 4 クランプ 16～25 |
| 5 ラジエーターブラケット | 6 ワッシャー |
| 7 丸型フランジヘッド付き六角ネジ | 8 ロックワッシャー |
| 9六角ネジ | 10 小型ラジエーター (125 Micro MAX evoのみ) |
| 11 ラジエーターブラケット (125 Micro MAX evoのみ) | |

BRP-ロータックス
インストール手順

ラジエーターの取り付け

注意

可能な限り最高のエンジン冷却を保証します。
空気の流れがラジエーター領域全体をカバーするようにしてください。

ステップ	手順
1	冷却ホース付きプレマウントラジエーター 図に示すようにラジエーターサポートも付いています。

注記

大型ラジエーター（位置1）は充填容量を有する約0.7リットル、エンジンタイプ125 MAXに適合evo、125 ジュニア MAX evo、125 ミニ マックス 進化。

小型ラジエーター（位置2）には充填容量がある約0.5リットル、エンジンタイプ125ミニマックスに適合evoと125 Micro MAX evo。
両方のラジエーターの取り付けは同様です。

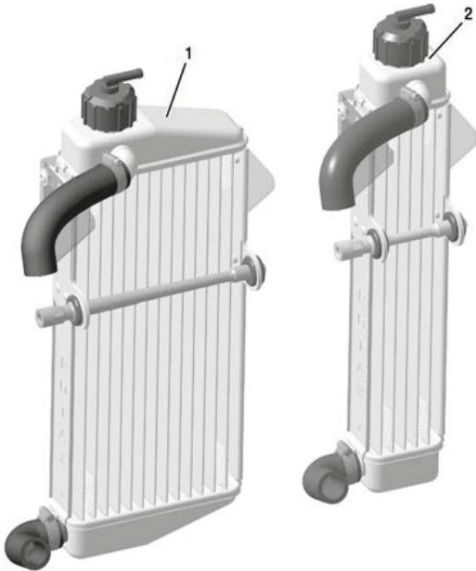


図5.2

ステップ	手順
2	組み立て済みのラジエーターを取り付けます エンジンに六角ネジM8x75を取り付け (位置1)およびワッシャー(位置2)。

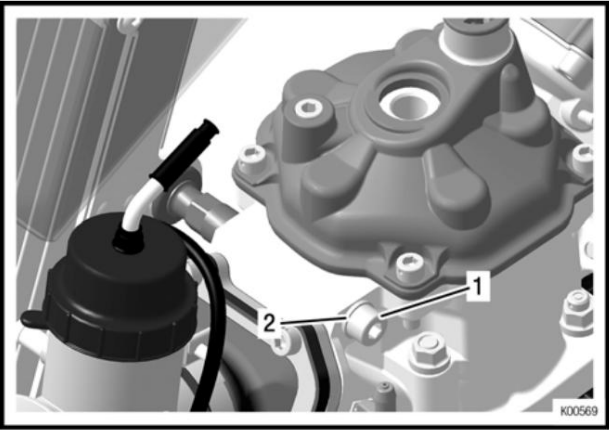


図5.3

六角ネジ M8x75 1本 ワッシャー2個

ステップ	手順
3	1本のホースを使用して、組み立て済みの上部冷却水ホースをエンジンに接続します。 クランプ（位置3）。

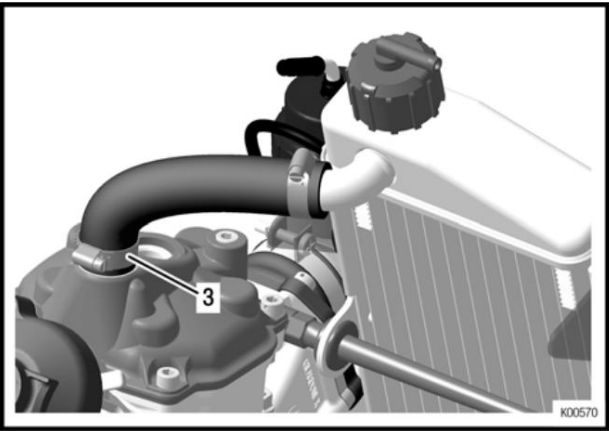


図5.4

3 ホースクランプ 16~25

ステップ	手順
4	1本のホースを使用して、組み立て済みの下部冷却水ホースをエンジンに接続します。 クランプ（位置4）

BRP-ロータックス
インストール手順

注記

上部ホースと下部ホースの長さは異なるはずですが、納品時には同じ長さになっています。
そのため、下のホースをハサミやナイフで切ります。

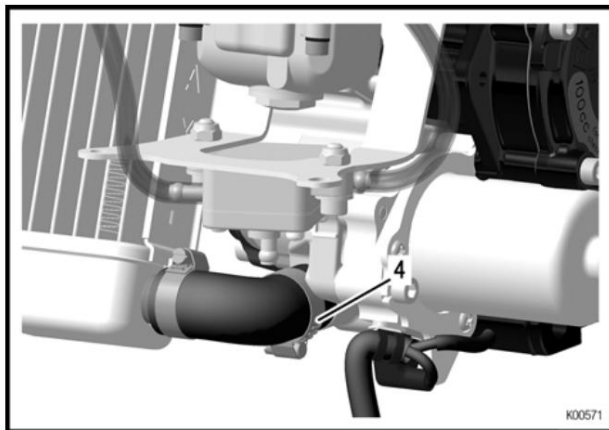


図5.5

4 ホースクランプ 16〜25

BRP-ロータックス
インストール手順

インテークサイレンサー

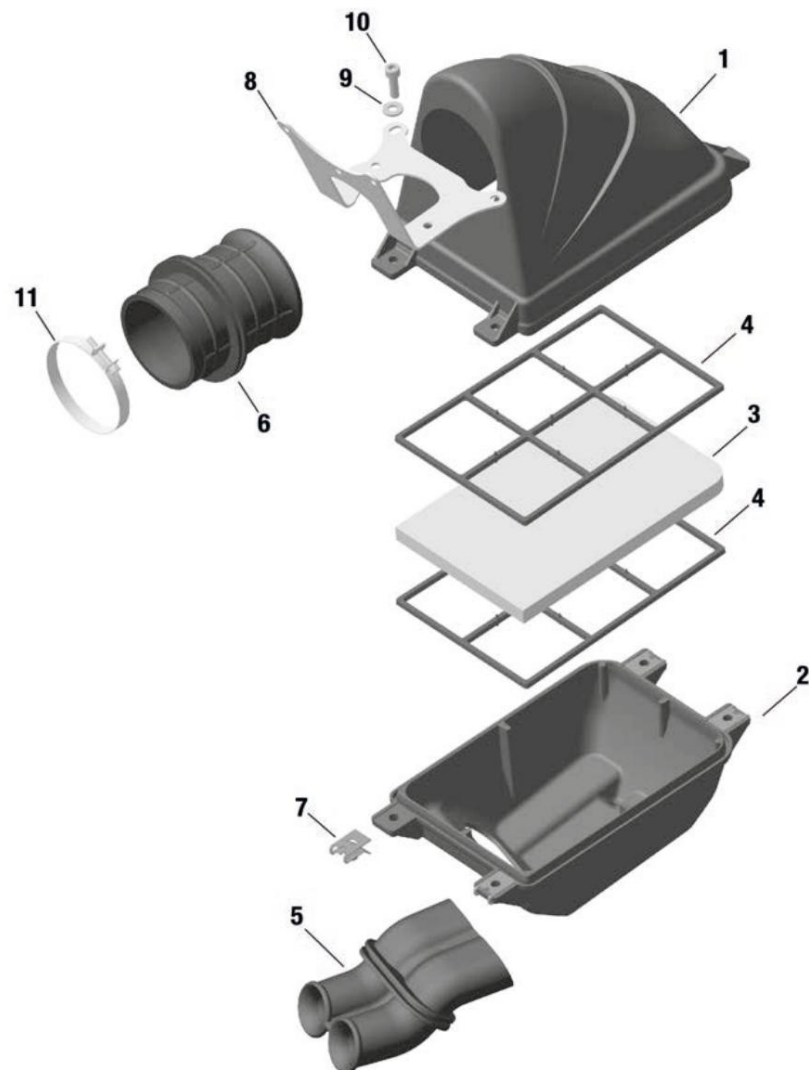


図5.6

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 吸気サイレンサーケース、上 | 2 吸気サイレンサーケース、下部 |
| 3 フィルターエレメント | 4 フィルターエレメントホルダー |
| 5 吸気サイレンサーチューブ | 6 キャブレターソケット |
| 7 ロックナット M6 | 8 サポートブラケット |
| 9 ワッシャー 6.4 | 10 六角ネジM6x20 |
| 11 クランプ 50〜70 | |

BRP-ロータックス
インストール手順

吸気口の取り付け
統合型サイレンサー
エアフィルター

ステップ	手順
1	ゴム吸気管（位置5）を取り付ける 垂直に底に 吸気サイレンサーの半分（位置2）なので 丸い吸気口が 外側へ。
2	キャブレターソケット（位置6）を 吸気サイレンサーケースの上半分 （位置1）ソケットの矢印が キャブレターの方向を指します。
3	フィルターエレメント（位置3）を取り付けます。 ホルダー（位置4）を下半分に 吸気サイレンサー（位置2）。
4	吸気サイレンサーケースの下半分（位置2）を上 半分（位置3）と組み立てます。 1) 次の図に示すように。 ロックが適切にインターロックされていることを確 認してください。
5	付属のホースクランプ（位置11）を使用して吸 気サイレンサーを取り付けます。 キャブレター。

注記

キャブレターソケット（位置6）は非対称です
キャブレターと吸気サイレンサーの間の最適な位置になるように
回転させることができます
達成することができます。

ステップ	手順
6	吸気サイレンサーをサポートブラケット（位置8）に2 つの六角レンチを使用して取り付けます。 ネジM6x20（位置10）ワッシャー付き （位置9）およびナット（位置7）。

BRP-ロータックス
インストール手順

章: 5
排気システム

この章のトピック

排気システムの取り付け4

BRP-ロータックス
インストール手順

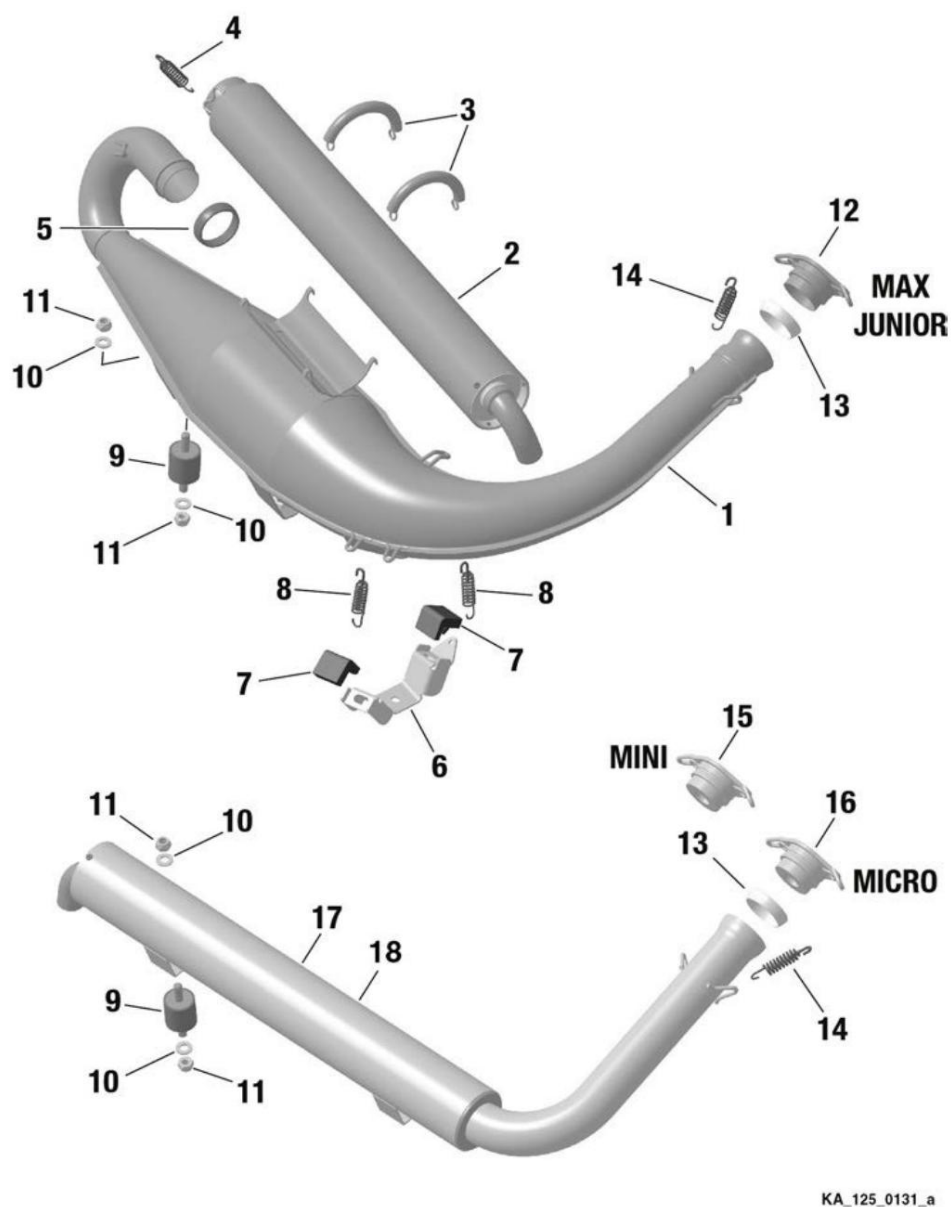


図6.1

- 1 排気システム (125 MAX evo、125 Junior MAX evo、125 MINI MAX evo)
- 3 テンションスプリング
- 5 排気ガスケット
- 7 ゴム製バッファー
- 9 ゴム製バッファー

- 2 サイレンサーアセンブリ。
- 4 スプリングステンレス
- 6 保持プレート
- 8 スプリングステンレス
- 10 ワッシャー 8.4

BRP-ロータックス
インストール手順

-
- | | |
|-----------------------------------|---|
| 11 ロックナット M8 | 12 排気ソケットアセンブリ。(125 MAX evo、125 Junior
マックスエボ) |
| 13 排気ガスケット | 14 スプリングステンレス |
| 15 排気ソケットアセンブリ (125 Mini MAX evo) | 16 排気ソケットアセンブリ (125 Micro MAX evo) |
| 17 排気システム (125 Micro MAX evo) | 18 排気システム (125 Mini MAX evo) 、類似品
Micro MAX evoと同じではない |

BRP-ロータックス
インストール手順

排気装置の取り付け
システム

必要なツール:
<ul style="list-style-type: none">• オープンエンドレンチ 13 mm• スプリングフック

注記

排気システムの下側には、2つの異なる取り付け機構が設けられています。前側では、保持プレート（位置番号6）と排気システムの上にゴム製バッファー（位置番号7）を挟み込み、伸長スプリング（位置番号8）で固定します。後側では、排気システムはM8ゴム製マウント（位置番号9）を使用して直接取り付けられます。

注意
排気システムのサスペンションが硬直すると、排気システムが破損する可能性があります。

ステップ	手順
1	耐熱ゴムマウント (位置 9) を、チューニングされた排気管の下側にある 2 つのサポート ラグに取り付けます。
2	シャーシ固有のサポートを配置して、排気システムがシリンダーの排気ソケットからマフラーまで可能な限り直線になるようにします。
3	ガスケット (位置番号13)は、エンジンと排気システム間の唯一のシールです。耐熱性LOC-TITEの追加は不要です。

注記

すべてのエンジンタイプに同じガスケットが付いています。

注記

排気システムに漏れがあると、性能が低下する可能性があります。

ステップ	手順
4	付属の2つの排気スプリング（位置14）を使用して、排気システムをボールジョイントに固定します。

注記

取り付けを容易にするために、特殊工具「スプリングフック」部
品番号 251680 を使用してください。

注意
スプリングを取り付ける際に過度の負担をかけないでください。

ステップ	手順
5	シリンダーと排気システム間のボールジョイントの密閉性が損なわれないように、排気システムをシャーシ サポートに取り付けます。

排気ソケット寸法:

エンジンタイプ	排気ソケット径
125 MAX エボ	Ø 37 mm / 1.46 インチ
125 ジュニア マックス 進化	Ø 37 mm / 1.46 インチ
125 Mini MAX evo	Ø 20 mm / 0.79 インチ
125 ミニ マックス エボ <small>2020年モデル</small>	Ø 22 mm / 0.87 インチ
125 マイクロ MAX evo	Ø 18 mm / 0.71 インチ

BRP-ロータックス
インストール手順

章: 6
アクセサリの取り付け

この章のトピック

取り付けプレートの取り付け2 スパークプラグの取り付け

け3 RAVEコントロールユニットの取り付けと接

続4

BRP-ロータックス
インストール手順

マウントの取り付け

III

注記

保持プレート、取り付けプレート、ソレノイドバルブ（排気スライドのないエンジンを除く）、および点火コイルはすでに組み立てられています。



図7.1

バリエーション1: 排気スライドのないエンジン



図7.2

バリエーション2: 排気スライド付きエンジン

ステップ	手順
1	六角穴付きネジ2本M6x20（位置1）、ワッシャー（位置2）、ロックナットM6（位置3）を使用して、取り付けプレートをクランクシャフトハウジング（位置4）に取り付けます。

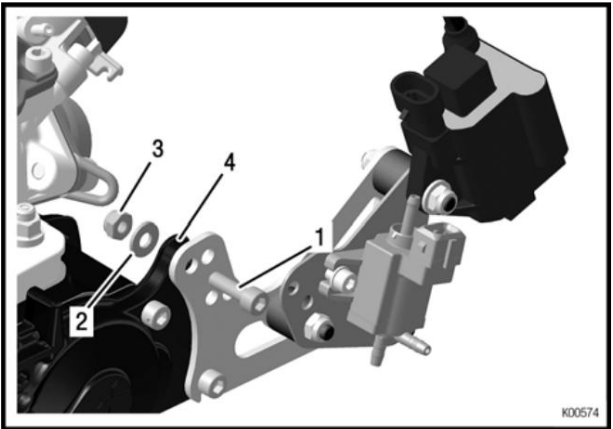


図7.3

- 1 六角ネジ M6x20 2 ワッシャー 6.4
- 3 ロックナット M6
- 4 クランクシャフトハウジング

注記

取り付けプレートの位置は異なる場合があります（エンジンの種類とシートステーの位置によって異なります）。

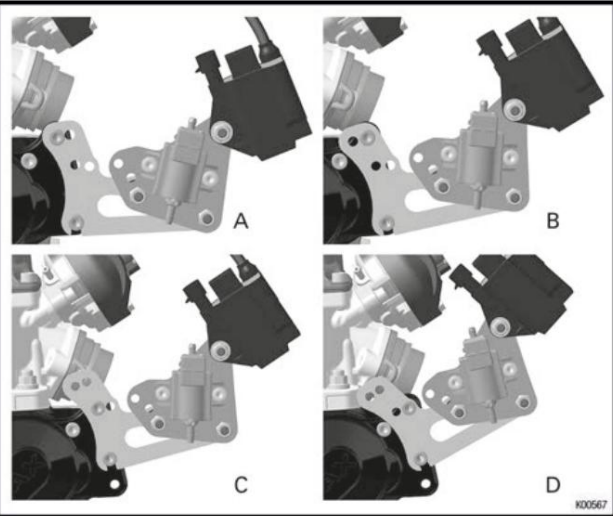


図7.4

取り付けプレートの位置

BRP-ロータックス
インストール手順

スパークプラグの取り付け

エンジンにはスパークプラグが付属します。

必要なツール:
<ul style="list-style-type: none">• 隙間ゲージ• ソケット 21 mm• トルクレンチ

ステップ	手順
1	輸送プラグを取り外します シリンダーヘッド。
2	スパークプラグの電極ギャップを点検し、必要に応じて調整してください。

注記

電極ギャップを設定するときは、技術規制を確認して適合性を確保してください。

ステップ	手順
3	付属のスパークプラグ（位置1）を取り付け、 25 Nm（221 lbf in）から27 Nmに締めます （239 lbf in）。
4	スパークプラグコネクタ（位置 1）を取り付けます。 2) 正しい噛み合わせを確保します。

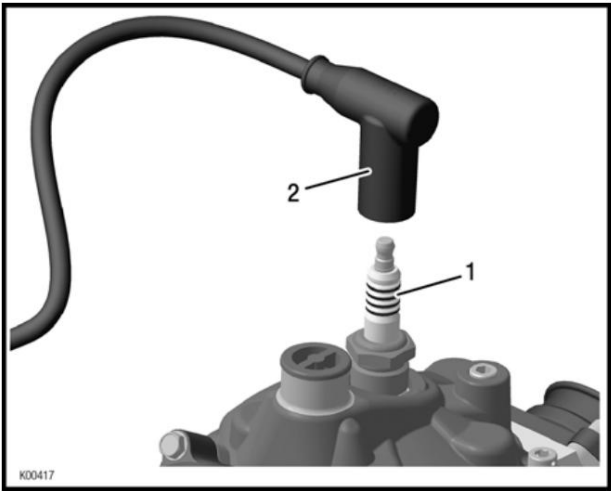


図7.5

スパークプラグ1個

2 スパークプラグコネクタ

BRP-ロータックス
インストール手順

インストールと接続
レイブコントロールユニット

注記

RAVE コントロールのホース パッケージはすでに組み立て済みです。

注記

インパルス制限装置はオプションで提供されます。

ステップ	手順
1	インパルスノズル（位置6）を約25度挿入します 420 mmの圧力ラインにmm （位置7）六角レンチSW4を使用して。 取り付け方向に注意！ インパルスノズルなしでも動作します。 これは開口部を塞ぐだけである 排気バルブの。

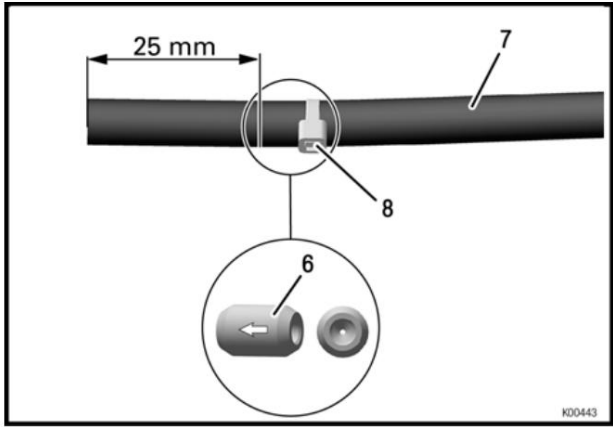


図7.6

- 6 インパルスノズル
7 圧力ライン
8 タイラップ（小）

注記

インパルスノズル（位置6）のずれを防ぐために、小さなケー
ブルタイ（位置8）
直後に添付する必要があります
圧力ライン。圧力ラインを縛らないでください。
完全に！

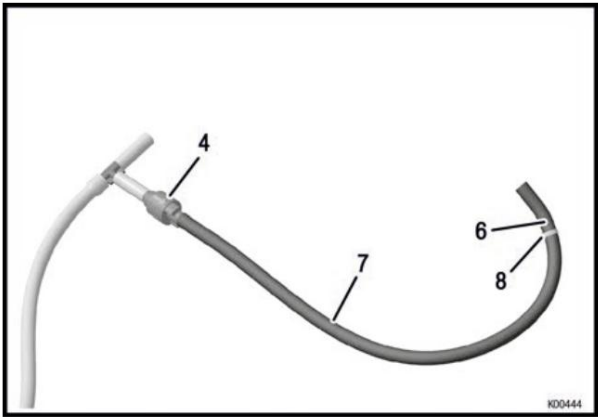


図7.7

- 4 チェックバルブ
6 インパルスノズル
7 圧力ライン
8 タイラップ（小）

ステップ	手順
2	T字継手の端（位置1）を取り付けます。 燃料ポンプの底部（位置2）まで。

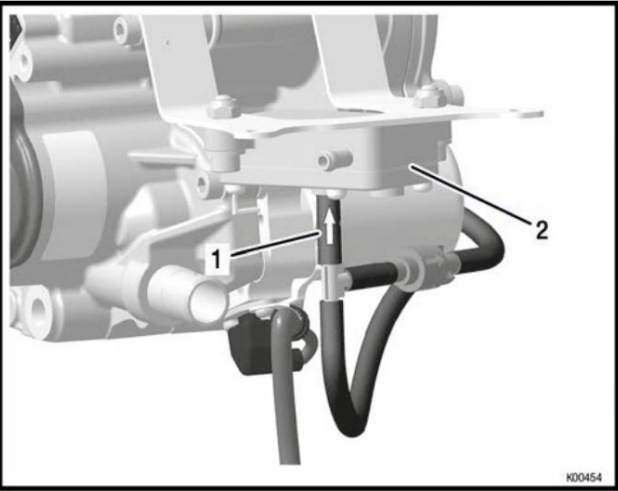


図7.8

- 1 T継手
2 燃料ポンプ

BRP-ロータックス
インストール手順

ステップ	手順
3	燃料ライン（位置1）をエンジンハウジングのインパルスニップルに接続します。ラインをタイラップで固定します（小）（位置2）。

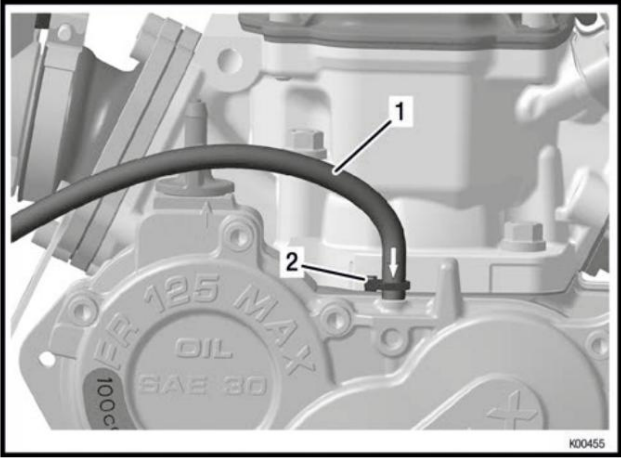


図7.9

1 燃料ライン タイラップ（小）2個

ステップ	手順
4	ホースの黒いホースを取り付けます パッケージ（位置1）を磁気バルブの金属コネクタ（位置2）に接続します。

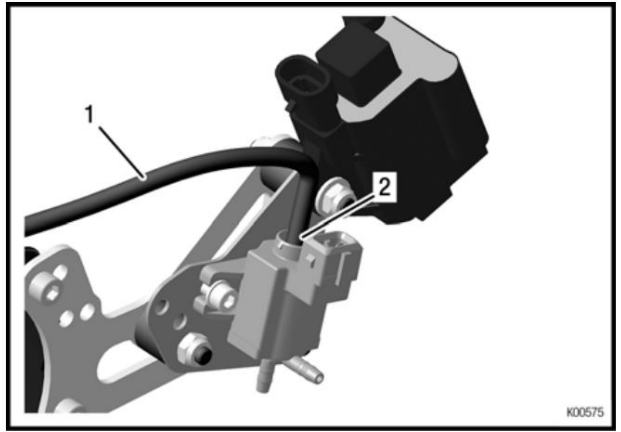


図7.10

ホース1本バック 2 金属コネクタ

ステップ	手順
5	もう1本のタイラップ（位置1）をエンジンハウジングの固定ポイント（ボア）に固定します。両方のラインをタイラップで固定します（pos. 3）、黒色のホース（位置 3）が確実に接続されていることを確認します。2)が上になります。

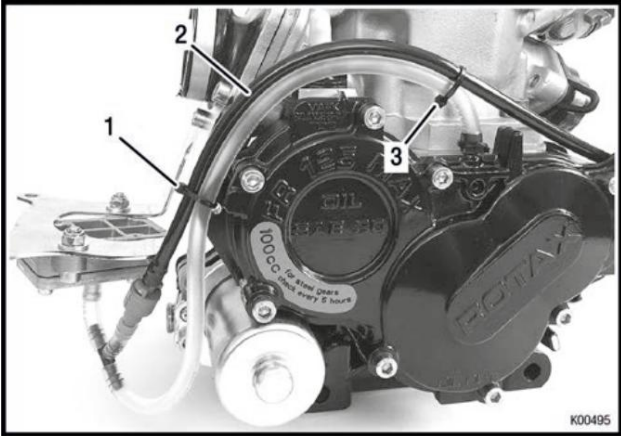


図7.11

1 タイラップ 2 黒いホース
3 タイラップ

ステップ	手順
6	280 mm 圧力ライン（位置 1）を取り付けます。 1) 排気バルブ（位置2）と 電磁弁（位置3）を固定する 磁気の圧力ライン タイラップ付きバルブ（位置4）。

BRP-ロータックス
インストール手順

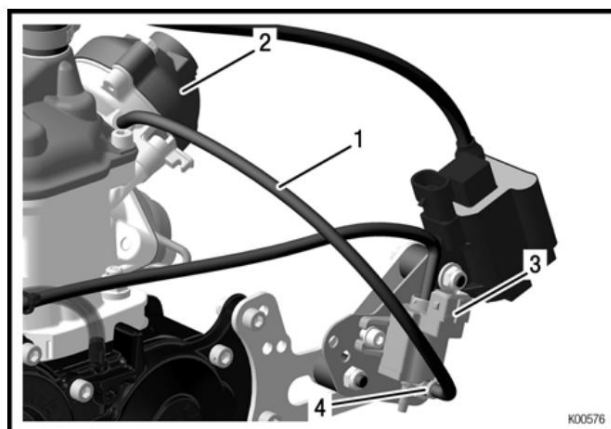


図7.12

1 圧力ライン

2 排気バルブ

3 電磁弁

4 タイラップ

BRP-ロータックス
インストール手順

章: 7
仕上げ作業

この章のトピック

ギアボックスのオイルレベルを確認する2 ドラ
イブチェーンの取り付け.....3 ギアボックス
の通気口の取り外し.....4 慣らし運転の手
順.....5

注記

注記

冷却水の温度制限内でエンジンの動作を保証するには、冷却水の温度を監視する温度センサーが必要です。

注記

動作制限については操作マニュアルを参照してください。

BRP-ロータックス
インストール手順

ギアボックスのオイルレベルを確認してください

ギアボックスにはすでに適切なエンジンメーカーは、100CC (0.026ガロン)のオイルを推奨しています。ただし、エンジンをエンジンに取り付ける前に、フレームの場合は、オイルレベルを確認するか、補充しました。

ステップ	手順
1	エンジンを水平面に置く および/または架台の組み立て。

注記

オイルレベルを正確に測定するには、ギアを排出します
油の量を決め、計量カップで量ります。

ステップ	手順
2	六角ネジ (位置1)とガスケットリング (位置2)を 緩めて漏れを吸収します。 計量カップに油を入れます。必要であれば 通気口のネジ (位置3)を外して オイルの排出を良くします。
3	計量カップを使用してギアオイルを計量します。

注記

新規充填時のオイル容量は 100 cc (0.026 ガロン) です。

注記

ギアオイルの仕様 :エンジンオイルSAE 15W-40。

ステップ	手順
4	六角ネジ (位置1)を締めます 新しいガスケットリング (位置2)を10 Nmに締め付けます。
5	エアベントに新しいギアオイルを補充する 穴。
6	エアベントネジ (位置 1)を手で締めます。 3) 。

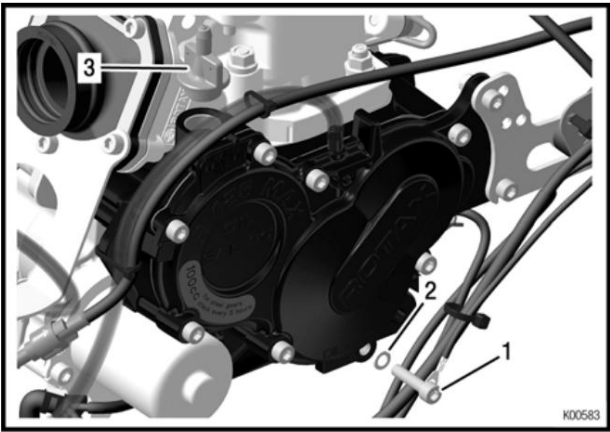


図8.1

- 六角ネジ1本
- 2 ガスケットリング
- 3 通気口ネジ

BRP-ロータックス インストール手順

ドライブチェーンの取り付け

ドライブチェーンの必要な長さは、
したがって、シャーシとトランスミッション比およびチェーンはエンジンの
供給範囲に含まれません。

注意	
BRP-RotaxはOリングドライブチェーンを推奨しています ROTAX Premiumより。	

ステップ	手順
1	選択したトランスミッションに対応する長さのチェーンを使用してください 寸法比7.75 x 4.6 x 4.5。
2	チェーンをスプロケットの上に置きます クラッチとリアのスプロケット 車軸。
3	フロントとリアのチェーンアライメントを確認する リアチェーンスプロケットはストレート エッジ。必要に応じてシフトして修正します。 リアアクスルに沿ったスプロケット アダプター。

注意	
チェーンのアライメントに注意してください シャーシメーカー。	

ステップ	手順
4	必要なチェーン張力を確立する（たるみ = +/- 5 mm / +/- 0.20インチ）をシフトすることで エンジン。 注記 エンジン停止ネジを使用してチェーンの張りを 調整します。
5	エンジンをシャーシに固定します。

警告	
遵守しないと重傷を負う可能性があります あるいは死！ エンジン固有のインストールアドバイスに加えて、それぞれの エンジンからの情報にも注意してください。 シャーシメーカー。	

このカバーは飛沫防止としてのみ機能します
ドライブチェーンのグリースに対する保護はありますが、可動部品との
接触に対する保護はありません。
遠心クラッチとドライブトレイン！

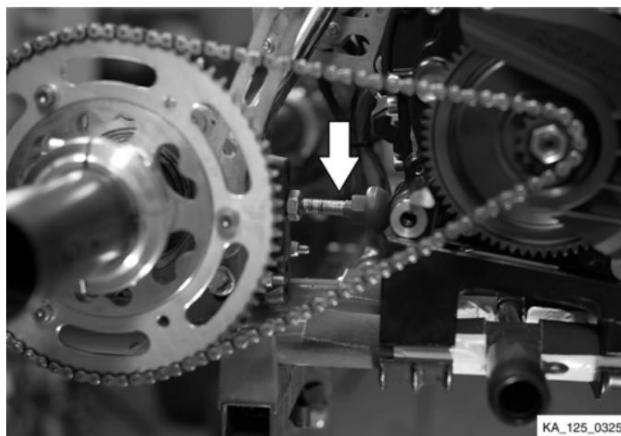


図8.2: チェーンテンショナー



図8.3: エンジンのアライメント

BRP-ロータックス
インストール手順

ギアの換気

区画

ステップ	手順
1	通気ネジからキャップを外します。
2	付属の適切な長さの燃料ホースを使用して、通気ネジと集合リザーバー間の接続を確立します。

注記

排気ホースは集水タンクの底まで届かないようにしてください。

注意

1つのリザーバーのみを使用している場合は、収集リザーバーの底に排気ホースを取り付けしないでください。

BRP-ロータックス インストール手順

慣らし運転手順

警告

従わない場合、重傷または死亡事故につながる可能性があります。

慣らし運転は、「ロング」ギア比とリッチ メイン ジェット (高度と温度に基づいて推奨されるメイン ジェットより 2 サイズ大きい) で行う必要があります。

注意

最初の 10 リットルの燃料には、1:33 (= 10 リットルの燃料あたり 3% または 0.3 リットルのオイル) の混合比率を使用します。

注記

BRP-Rotax は XPS Kart - Tec オイルの使用を推奨しています。

ステップ	手順
1	15 分、10,000 rpm まで。15 分、12,000 rpm まで。15 分、全負荷。
2	メインジェットのサイズを段階的に小さくします (例 :172 - 170 - 168 ...) 。

注記

冷却水の温度が最低 55 °C (130 °F) に達していることを確認してください。

周囲温度が低い場合は、ラジエーターの一部をテープで覆う必要があります。

BRP-ロータックス インストール手順

注記

注記

6ページ
発行日: 2021年3月1日

有効範囲: 125 MAX evo、Junior MAX evo、Mini MAX
evo、Micro MAX evo エディション 2019年10月1日/
Rev. 0

BRP-ロータックス
インストール手順

索引

B

バッテリー、取り付け7 ボウデンケーブル、
取り付け5

C

キャブレター、接続7 キャブレター、取り
付け7 冷却システ
ム1 冷却システムの概
要2

D

ドライブチェーン、フィッティング3

E

ECU、取り付け5 電気系
統1 エンジン情
報3 エンジンのシャーシへの取り付
け2 エンジン、アタッチメン
ト3 排気システ
ム1 排気システム、取り付
け4

F

仕上げ作業1 燃料ポンプの取り付
け2 燃料システムの取り付
け1

ス

吸気サイレンサー5 吸気サイレンサー、
取り付け6 はじめ
に1

M

取り付けプレート、取り付け2

お

オイルレベル、ギアボックスのチェック2

R

ラジエーターの取り付け3 RAVEコントロール
ユニットの取り付け4 慣らし運転の手順、慣らし運転の手
順5

S

スパークプラグ、フィッティング3

あなた

開封1

V

ギアコンパートメントの換気4

W

配線ハーネス4 配線ハーネス、取り
付け2

ROTAX®

